

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成22年4月30日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

『ぼくたちも大事な一人 国勢調査』

10月1日は国勢調査です

調査は5年ごと(今回は平成17年)



第19回国勢調査が、平成22年10月1日に実施されます。

国勢調査は、日本にふだん住んでいる全ての人、赤ちゃんからお年寄りまで、外国人も対象です。調査項目は、男女の別、出生の年月、就業形態、従業地・通学地、住居の種類などです。

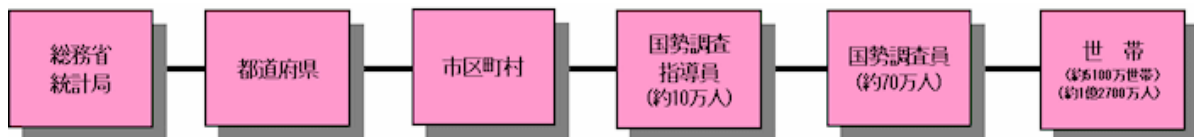
国勢調査結果は、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データとなります。日本の今を知り、より良い未来のために活かす国勢調査へのご回答をよろしくお願いします。

例えば、地域別の人口と世帯数をはじめ、「高齢化の進んでいる地域」、「若者や女性の就業状態・雇用形態」、「世帯構成の変化」などの詳細なデータを得て、国や地方公共団体の政治・行政をはじめ、学術研究機関や企業でも広く利用されます。



国勢調査の流れ

総務省統計局が基本的な計画を定め、都道府県・市区町村を通じて実施します。



どうやって回答するの？

- (1)9月下旬に統計調査員が調査票を配布。
- (2)10月上旬に調査員が調査票を回収(調査票は封筒に入れる)。
- (3)または、郵送で直接、市町村に提出する(世帯で選択可能です)。

個人情報は大丈夫？

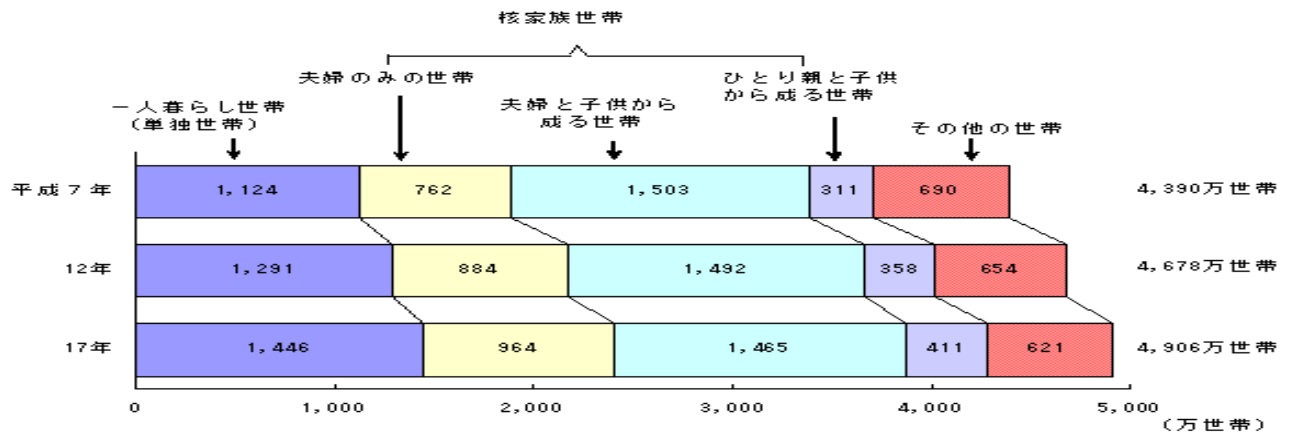
統計調査員などには、統計法で厳しい守秘義務が課せられています。回答内容は個人が特定できないかたちで、厳重に管理し、統計作成や分析のみに利用されます(集計が完了したあとは完全に溶かして再生紙に)。

どうしても回答しないとイケないの？

正確な統計を作成するためには、日本に住む全ての人からの漏れのない正確な回答が是非とも必要です。国勢調査では、全ての人に必ず回答していただくことにしています。

☆一人暮らし世帯は増加する？

図8 一般世帯の家族類型別世帯数の推移ー全国（平成7年～17年）



(注) 「その他の世帯」とは、「夫婦と両親から成る世帯」や「兄弟姉妹のみから成る世帯」などの世帯をいう。

- ・世帯数は一貫して増加傾向
- ・「一人暮らし世帯」と「夫婦と子供から成る世帯」は、ほぼ同じ割合(平成17年)
- ・「夫婦のみ世帯」は増加傾向

国勢調査【豆知識】

日本の「国勢調査の起源」

日本書記によると、日本では崇神天皇(在位紀元前97〜紀元前29年)によって人口調査が行われたといわれています。このように、人口調査は非常に古くから行われており、国家を運営していく上で、必要不可欠な調査であったことがわかります。



近代統計調査、日本初の国勢調査

第一回国勢調査は大正9年(1920年)に実施されました。このときから調査日時は10月1日午前0時と定められ、19回を数える今回の調査まで変わっていません。第一回国勢調査に従事した統計調査員は非常な名誉職であり、民間の人が国の事業に参加できるということ、地方の名士が羽織袴で各世帯を訪問したそうです。

世界の国勢調査

国勢調査(人口センサス)は世界各国で実施されています。2010年の計画は、200以上の国と地域で人口センサスが実施されることになっています。米国では4月、インドネシアは5月、タイは7月、11月には中国と韓国で実施されます。

熊本県に「国勢橋」

熊本県小国町にある「国勢橋」は、旧都市計画法による区画整理に合わせて建造された橋で、第1回国勢調査(1920年、大正9年)を記念して、「国勢橋」の名称が付けられました。建設当時は木造でしたが、昭和7年に石造により架設されて現在に至っています。また、「国勢橋」を起点とする「国勢橋通り」もあり、清酒「国勢」を製造・販売する造り酒屋があります。

国勢調査のことをもっと知りたい人は、[国勢調査e-ガイド「国勢調査って何？」](#)にお答えします←ここをクリックして下さい。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、5日28(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / E-mail: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp